

図書館だより 1月号

第482号 令和7年1月5日 阿久比町立図書館
〒470-2212 知多郡阿久比町大字卯坂字栗之木谷32-4 TEL0569-48-6231



新年あけましておめでとうございます

いつも多くの方に図書館をご利用いただき誠にありがとうございます。
本年も皆様にとって利用しやすく、居心地の良い図書館となりますよう努めてまいりますので、変わらぬご利用のほどよろしくお願いいたします。

阿久比町立図書館職員一同



今月の特集

「蔦屋重三郎の生きた時代」

今年の大河ドラマの主人公、蔦屋重三郎。彼は江戸時代も後半にさしかかろうとする頃、親なし、金なし、画才なし…のないない尽くしの生まれで貸本業から身を起し、社会状況の変化をつぶさにとらえ、江戸のメディア王にのぼりつめました。

浮世絵師のなかでも、とくに名高い歌麿や写楽を見出し、プロデュースしたことで知られています。また黄表紙や洒落本といった文芸のジャンルでも、時流をつかみ、数々のベストセラー作品を生み出しました。彼は、まさに時代の風雲児といってよいでしょう。

今月はそんな蔦屋重三郎が生きた、寛延3年（1750年）から寛政9年（1797年）までの時代に関する本を集めました。時代背景を知っていけば、ドラマもより楽しめるかもしれませんね。



1月の図書館カレンダー
※○印は休館日です。

日	月	火	水	木	金	土
			○1	○2	○3	○4
5	○6	7	8	9	10	11
12	○13	14	15	16	17	18
19	○20	21	22	23	24	25
26	○27	28	29	○30	31	

開館時間 火～金 10:00～18:00
土・日・祝 10:00～17:00

◆◆◆◆ 展示ホール ◆◆◆◆

- ◆ 阿久比中学校作品展 1月14日（火）まで
- ◆ 阿久比高校展 1月17日（金）～2月2日（日）

☆おはなし会☆

土曜日・日曜日・祝日
午後2時30分から
子ども向け絵本や紙芝居の読み聞かせを開催しています。



新 着 図 書

『手帳のある暮らし』

著 者 柳沢 小実

出版社 大和書房

分 類 002.7

手帳は単なるスケジュール管理ツールではなく、よりよい日々をクリエイトする並走者のようなもの。手帳を書いていると、いいことがある。大の手帳好きの著者が伝える、自己肯定感が上がる手帳術。



『台所で考えた』

著 者 若竹 千佐子

出版社 河出書房新社

分 類 914.6 リ

孤独と自由、新しい老い、自分を知る楽しさ、家族の形、ひとりで生きること…。夫を亡くし、63歳で主婦から作家になり、芥川賞を受賞した著者が、書いて考えて辿りついた、台所目線の哲学。



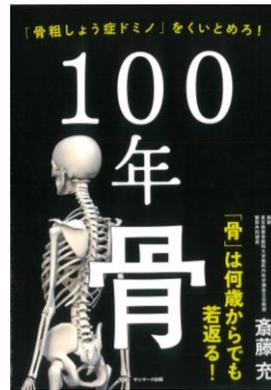
『100年骨』

著 者 斎藤 充

出版社 サンマーク出版

分 類 493.6

骨は何歳からでも若返る！骨劣化を左右する「骨質」を解明した世界的権威が、骨粗しょう症の最新のサイエンスを紹介するとともに、骨折・寝たきり・認知症へのドミノを防ぐ方法を解説する。



『漢詩の美しい言葉』

著 者 鷺野 正明

出版社 翔泳社

分 類 921 リ

動植物、情感、風景…。思わず声に出して読みたくなる、美しい漢詩の言葉 100 を、春夏秋冬の 4 つの章に分けて紹介。唐代を代表する漢詩人や、菅原道真、夏目漱石などの漢詩も掲載する。



書 名	著 者	出 版 社	分 類
『一冊でわかる大正時代』	大石 学[監修]	河出書房新社	210.6
『子どもが自然と集中する学習空間の作り方』	米田 まりな	日本能率協会マネジメントセンター	379.9
『日本の肉じゃがが世界の肉じゃが』	阿古 真理	新星出版社	383.8
『世界一やさしいウイスキーの味覚図鑑』	朝倉 あさげ、omiso[イラスト]	カンゼン	588.5
『なるほどバッグ』		日本ヴォーグ社	594.7
『対馬の海に沈む』	窪田 新之助	集英社	611.6
『レオ・レオーニと仲間たち』	松岡 希代子[編著]、森泉 文美[編著]	青幻舎	726.6
『論理的音楽鑑賞 1・2・3』	佐久間 佳織、玄馬 絵美子、森本 眞由美[監修]	ヤマミュージックエンタテインメントホールディングス	760.7
『冬と瓦礫』	砂原 浩太朗	集英社	913.6 ス
『華の蔦重』	吉川 永青	集英社	913.6 ヨ
『破れざる旗の下に』	ジェイムズ・リー・バーク	早川書房	933.7 ハ

※新着図書はこの他にもたくさんあります。ぜひ一度町立図書館新着図書コーナーをご覧ください。
 ※新刊のリクエストも受け付けております。新しく出た本では是非図書館に入れてほしい本がありましたら、カウンターに予約票でリクエストをお願いします。なお、リクエストされたものが必ず所蔵されるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

図書館の資料は、町の大切な財産です。書き込みや切り取り、ページの折り曲げはしないでください。図書館の資料を汚してしまった、濡らしてしまった、破ってしまった場合は、必ず返却の際カウンターに申し出てください。資料の汚破損や紛失につきましては、弁償していただく場合があります。